

座る時間が 「姿勢トレーニング」 になる健康イス

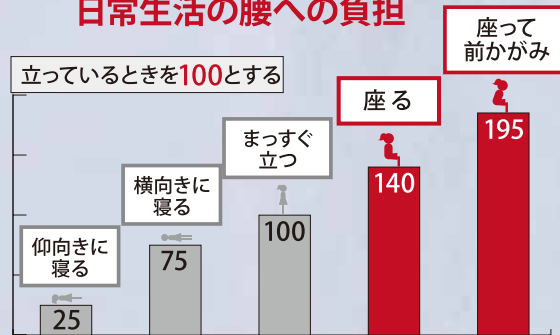
日本は世界有数の「腰痛大国」であり、4人に1人が腰に悩みを抱えている(※1)。また、日本人は世界一座る時間が長い国民でもある(※2)。日本人は姿勢が悪いと言われるが、実は悪い姿勢でイスに座ると、立っている時の約2倍もの負担が腰にかかる(※右下図)。昔の日本人は、畳の上で正座やあぐらで自然と「坐骨」で座っていたため、とても姿勢が良かったという。「アーユル・チェアー」に座ると、誰でも自然と骨盤が立ち、腰の負担が少ない「坐骨座り」が身につく。多忙な人でも、仕事や食事など日常の座り時間が姿勢をよくするトレーニングとなるのだ。目先の座り心地だけではなく、腰が喜ぶ健康イスだ。



「坐骨」で座れる特許形状(※3)

2005年特許取得。2つに割れた自転車のサドルのような小さな座面を「またいで」座ることで骨盤が立ち、「坐骨」で座る正しい姿勢に。背もたれならぬ「腰あて」が、痛む腰も心地よく支えてくれる。グッドデザイン賞、健康医療アワード受賞。多くの身体の専門家も推薦している。慶應義塾高校、成蹊大学の他、UHA味覚糖、DeNA、JINSなどの企業にも導入されている。

日常生活の腰への負担



※ナッケムソン「姿勢の変化による椎間板内圧の変化」より

- ①プレミアムモデル 01 71,500円
- ②キャスタータイプ 52,800円
- ③スツールタイプ 31,900円
- ④座イス&座面シートタイプ 19,800円

ムービーは
こちら



0120-972-725

アーユルチェアー

検索

※1 厚生労働省2013年発表
 ※2 世界20カ国の成人を対象に、平日どれだけ座っているかを調査(Bauman et al, 2011年)
 ※3 特許3733369号。2つに割れ、後傾かつ山型の座面により着座者の背骨が自然と伸び姿勢よく座れる